

CS こひつじ科礼拝式次第

2022年4月3日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「というのは、神がお造りになったものはすべて良いものであり、
感謝してうけるならば、何一つ捨てるものはないからです。」

テモテへの手紙－4章4節

26、十字架のうえの（こどもさんびかをお用ください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ マタイによる福音書26章36～46節

それから、イエスは弟子たちと一緒にゲツセマネという所に来て、「わたしが向こうへ行って祈っている間、ここに座っていなさい」と言われた。ペトロおよびゼバダイの子二人を伴われたが、そのとき、悲しみもだえ始められた。そして、彼らに言われた。「わたしは死ぬばかりに悲しい。ここを離れず、わたしと共に目を覚ましていなさい。」少し進んで行って、うつ伏せになり、祈って言われた。「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに。」それから、弟子たちのところへ戻って御覧になると、彼らは眠っていたので、ペトロに言われた。「あなたがたはこのように、わずか一時もわたしと共に目を覚ましていられなかったのか。誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていなさい。心は燃えても、肉体は弱い。」更に、二度目に向こうへ行って祈られた。「父よ、わたしが飲まないかぎりこの杯が過ぎ去らないのでしたら、あなたの御心が行われますように。」再び戻って御覧になると、弟子たちは眠っていた。ひどく眠ったのである。そこで、彼らを離れ、また向こうへ行って、三度目も同じ言葉で祈られた。それから、弟子たちのところに戻って来て言われた。「あなたがたはまだ眠っている。休んでいる。時が近づいた。人の子は罪人たちの手に引き渡される。立て、行こう。見よ、わたしを裏切る者が来た。」

おはなし 「一人ぼっちのイエス様」

若月道子先生

今年のイースターは、4月17日です。わたしたちの罪のために十字架にかけられて死んでくださったイエス様が、よみがえられたことをお祝いする日です。

イエス様は、どうして十字架にかけられたのでしょうか。それは、わたしたちが天国に行けるようになるためです。罪があつては天国には入れません。イエス様は、ご自分は何一つ罪が無いのに、わたしたちの罪のみがわりとなって、十字架にかかってくださったのです。そのおかげで、イエス様を救い主と信じる者は、天国に行くことができるようになったのです。

今日の聖書箇所は、その十字架にかけられる前の夜のお話です。

イエス様は、お弟子さんたちと最後の夕食を食べた後、ペトロさんたちとゲッセマネというところへ、お祈りをするために出かけました。イエス様は、これからおこるできごとが、とてもつらいことなので「わたしは、死ぬばかりに悲しい」と言われ、「出来る事なら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください」と必死にお祈りをしていました。

その時、弟子たちは何をしていたのでしょうか。なんと！ グーグー眠っていたのです。ペトロさんたちは、イエス様のつらい気持ち、祈ってほしいという願いを、理解することが出来ませんでした。イエス様は、お一人でこの事を受け止めなければなりませんでした。

イエス様は、杯をとりのぞかれることを願いつつも、神様の御心を第一とされました。それは、イエス様を信じる人が天国に入れるようにするためです。それほど、イエス様は、わたしたちを大切に思い、愛して下さいているのです。わたしたちは、イースターの日を思いながら、お一人で、わたしたちを罪から救うために十字架にかけられた、イエス様の愛に感謝しましょう。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂 2 階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

27、わたしたちのつみのため (こどもさんびかをお用ください)